



伊賀で育つ子どもたちが
夢や希望をあきらめず、
将来の選択肢を持てるように

日本では、9人に1人の子どもが
貧困家庭で育っている



厚生労働省2022年 国民生活基礎調査

子どもの誕生日プレゼントや
ケーキを用意できなかった

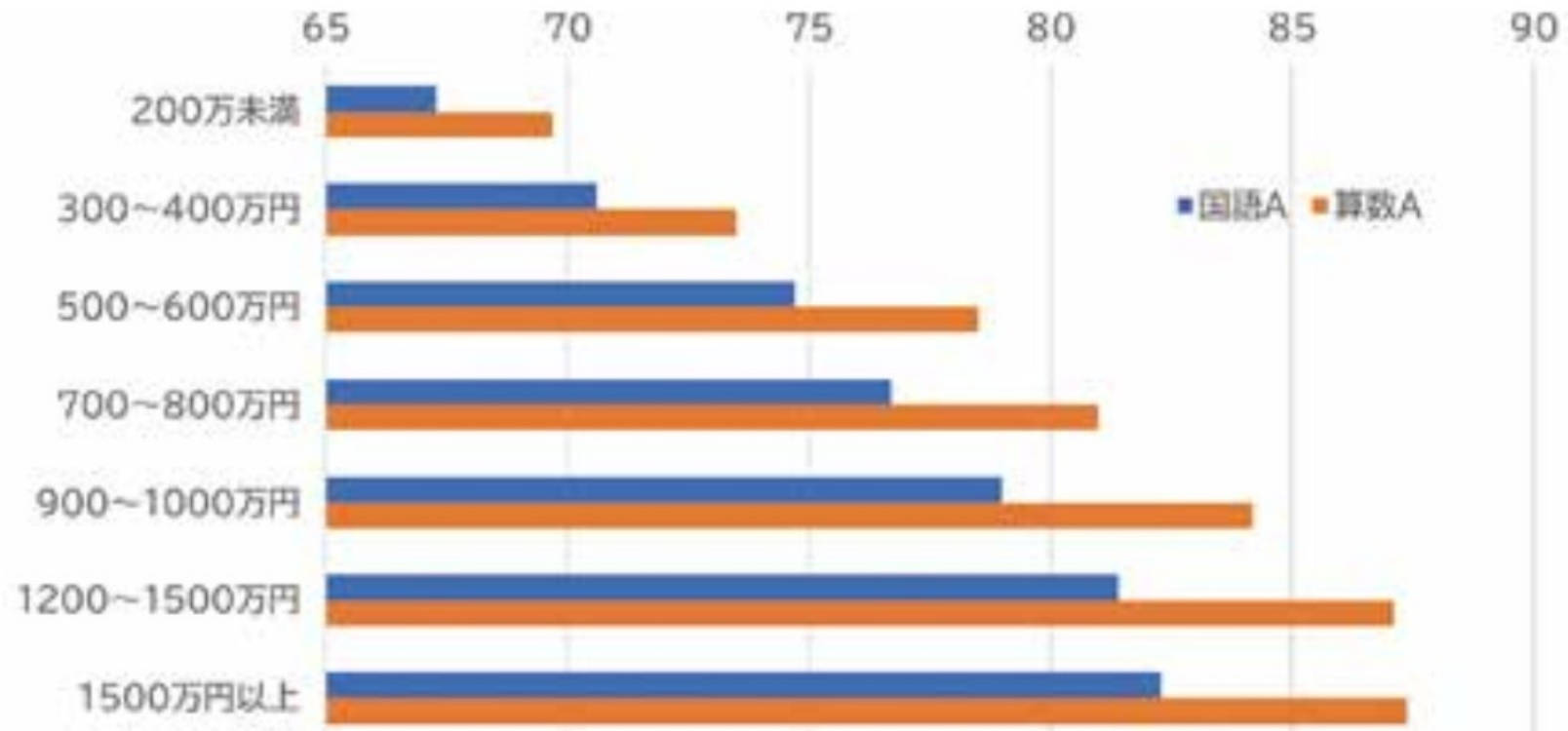
▶20% (食糧支援を受けている家庭)

クリスマスプレゼントやケーキが用意できなかった

▶16% (食糧支援を受けている家庭)

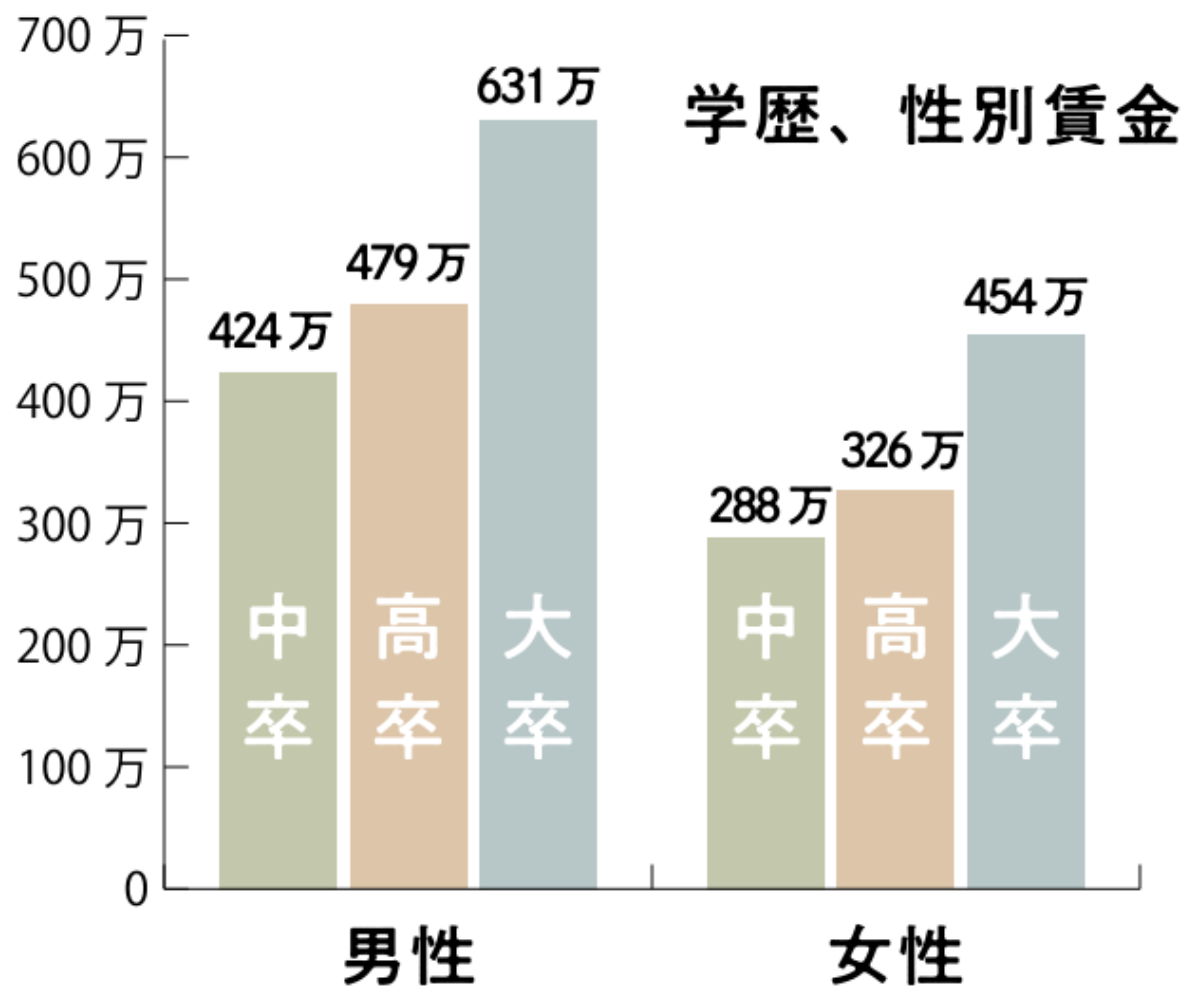
※伊賀市社協主催フードパントリー事前アンケートから (2024年7月7日)

世帯年収と子どもの学力



出展：国立大学法人お茶の水女子大学 平成 30 年 3 月 30 日平成 29 年度
「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」保護者に対
する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する研究調査より

学歴で生涯年収にも差が出る社会



参考／令和3年賃金構造基本統計調査

社会構造が明らかに

社会全体で子どもを育んでいく必要性



「食事」「学習」「生活必需品」「愛情」「社会性」「生活習慣」「居場所」「体験」「世帯の生活力」の不足、「ヤングケアラー」を含めた問題に焦点を当て、社会問題に対する対処療法に留まらず、**根本治療や予防となる活動**も行い、
貧困の連鎖を断ち切り、**子どもが夢や希望をあきらめず、**
将来の選択肢の広がりに繋がる活動を行っていききたい。

子ども支援活動

居場所



愛情が得られ、心の拠り所となる安全・安心な居場所づくり活動

- 子ども食堂
- 校内カフェ
- 地域のサロン活動

学習支援



学習習慣を身に付けたり通学・進学のためのサポート活動

- 無料学習塾
- 進学・通学手続支援
- 自転車貸出
- 送迎支援

生活支援



食事や生活必需品が得られ基本的な生活習慣を身につけた子どもを増やすための活動

- フードパントリー
- 子ども食堂
- 子ども食事支援

体験



基本的な社会性、生きる力と豊かな成長を促す活動

- 遊び・自然体験支援活動
- 子どもボランティア活動
- クリスマス＆誕生日ケーキプレゼント配布活動



いがっこの家上野忍

子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、
人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、
将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを
目的とした居場所



Q. 子ども第三の居場所って？

家庭の複合的な課題にも寄り添い、子ども一人ひとりの個性や状況に応じた学習支援や生活支援を行います。居場所を通じて子どもの自己肯定感を高め、健全な生活習慣と社会性を身に付けたり、自分の力で生きる自信の涵養と豊かな成長をサポートします。

子ども第三の居場所 概要

■開設時間

年末年始・祝祭日を除く
月・水・金の 15:00 ～ 20:00
※長期休暇は、変更あり

■利用定員

定員20名(1日の利用10名程度)
小学生を中心とした子ども

Q. 居場所の運営は？

B & G財団が伊賀市に助成し、伊賀市社会福祉協議会がその補助を受けて施設整備・運営を行います。



子ども
第三の
居場所

■1日のプログラム(例)

15:00 ～ 手洗い・うがい・おやつ
16:00 ～ 学習
17:00 ～ 日替わり活動
18:00 ～ 夕食・後片付け・歯磨き・掃除
19:00 ～ 自由あそび・入浴(必要に応じて)・お迎え



いがっこの家 上野忍の取り組み

▶ 多目的コーナー



▶ 外観



▶ 学習コーナー



▶ 玄関



いがっこの家上野忍

で実現したい目標

生活基盤



●満足な食事ができる



●生活必需品や生活に必要な事項の資金が不足していても用意することができる



●適正な医療を受けることができる



●世帯の生活力の向上

生活習慣・社会性



●基本的な生活習慣を身につけることができる



●基本的な社会性を身につけることができる



●心の拠り所となる居場所がある



●大人が担うべき家族の介護・世話を日常的にしている状況にある子ども(ヤングケアラー)の減少

学 習



●十分な教育を受けることができる

非認知能力

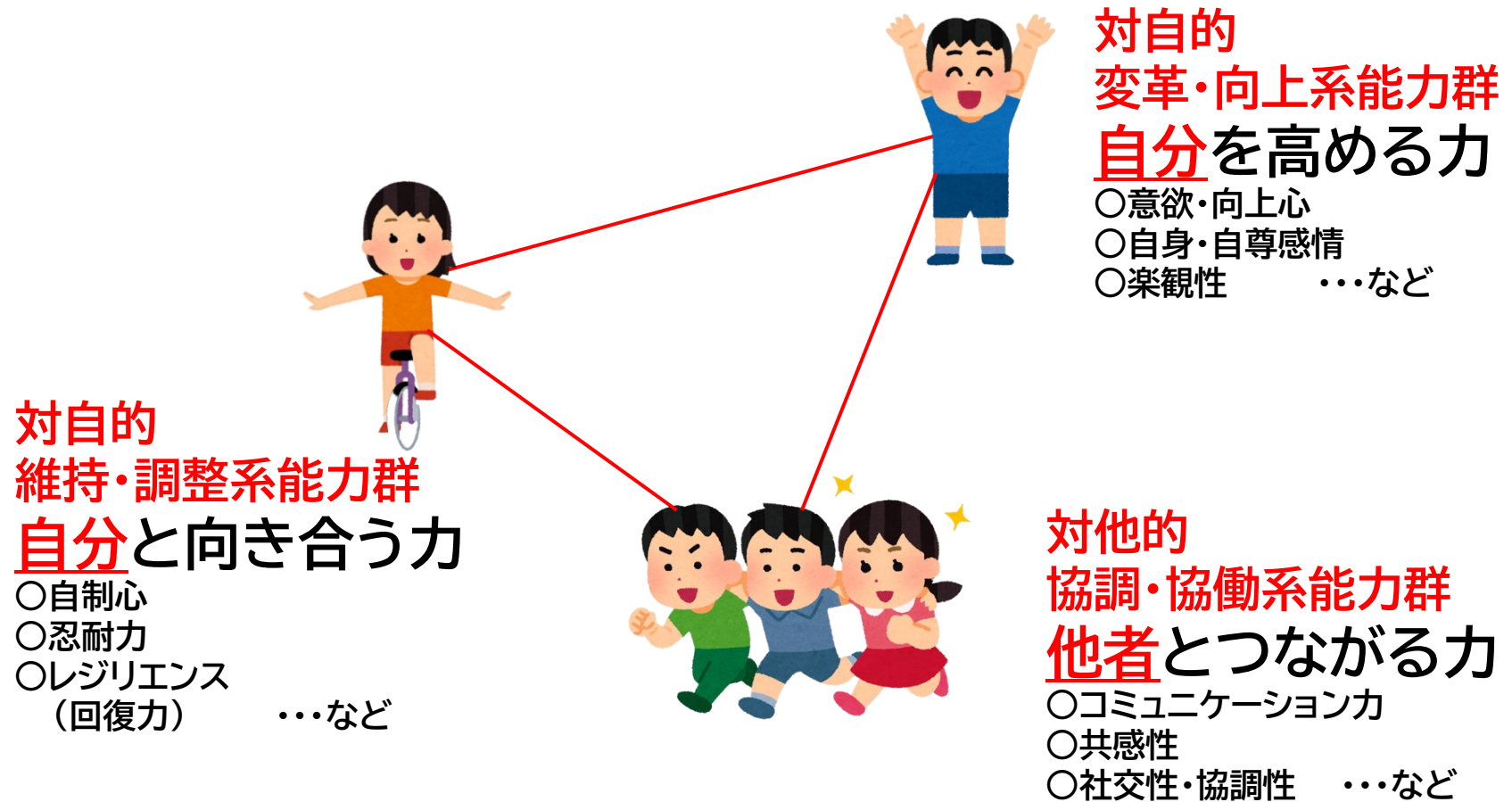


●子ども時代に誰もが経験していることを経験できる



●非認知能力が低い生活困窮世帯の子どもの減少

3つのグループで分類した非認知能力



どのような環境に生まれ育っても、
全ての子どもが
食事や学習の機会、生活必需品、愛情など、
育つために当たり前に必要な環境が
得られる社会の実現